

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		福岡城西学園 チロル I				公表日	令和7年3月28日(金)
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	利用人数に応じてのプログラムの提供場所の工夫や個別対応への配慮を可能な限り行っている	プログラムの内容で温度差がないように(学習とレクレーション的プログラムなどの組み合わせ)提供するプログラムの内容の工夫や子供だけでなく職員も声の大きさなどにも意識するなど検討し直していく	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	必要に応じてアルバイトの起用や非常勤職員で対応している	プログラムの担当者が明確になっていないため、職員が偏って対応していたりすることがあるため、担当者を明確にし、職員間で声掛けを行うことで配置に偏りがないようにしていく	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	物の配置を明記し、自分で整理整頓がしやすいようにしている	聴覚過敏など取り組む際に集中しづらい環境ではないかなど、個別の配慮を今後はさらに検討していく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	清掃や消毒などの徹底を行っている	ワンフロアで別のプログラムを実施することがあるため、提供の仕方の工夫や配慮をさらに検討する	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	子どもからの申し出のみでなく、必要に応じて職員からの誘導も行なっている	個別ブースの設置がないため、今後検討していく	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2		個人によって目標設定や振り返りの差があると感じるところもあるため、職員間の意識改善を行っていきたい	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		開所年度が終了したため、次年度から評価表をもとに業務改善に繋げていきたい	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		発信された意見をどのように改善していくかがとりあえずになってしまっているところがあるため、しっかり検討し改善に努めていきたい	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		現時点で第三者による外部評価を行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	研修等はアナウンスを行い受講するよう促している		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	2		支援プログラムの公表を行っているが、その時の利用状況などで臨機応変対応を行っており、公表通り実施されていない時がある	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	ご家庭やチロルでの日々の様子などを元に、将来課題になりえる可能性の高いものから計画に取り組んで作成している	こども本人が課題と捉えにくいこともあり、本人の理解を深める方法を検討する必要がある	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	職員間で困りごとや課題とを感じるものを提案してもらい計画作成時に検討している	職員自身が課題と感じていないこともあり、気づきに繋がらないことがあるため、職員の研修も充実させたい	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画や支援内容の共有を行っている	支援内容の方法や提案を職員間で深めていき、共通認識による支援をさらに深めていきたい	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		インフォーマルなアセスメントは常に行なっているがツールなどを活用したアセスメントも実施していきたい	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	3		ガイドラインの理解が不足しているので研修などを実施し理解を深めたい	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2	季節に応じた活動内容を取り入れるように工夫をしている	特性で固定化になりがちな方もあるので、声かけや促し方の工夫を行い固定化しないように対応していく	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		利用時間が短い方は学習支援が中心となりがちなため時間配分などの工夫も行なっていきたい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	朝礼時に打ち合わせを行っている	大きな行事の際は役割分担を決めて行っているが、日々の支援はその時の状況で対応をしている為、今後は役割分担を決めて対応していきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2		利用者が全員退所する時間が遅いため、終了後の情報共有を実施することが難しく簡易的な共有しかできていないため、翌日の朝礼時に申し送り等行っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	2		職員の支援記録の仕方に統一性がなく、記録内容が希薄なときもあるため、アナウンスや研修等を行い、支援記録内容の充実に努めていく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	2		計画の見直し時期が遅れがちになるため、気を付けて行く
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		ガイドラインの理解が不足しているので研修などを実施し理解を深めたい
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	自己決定が促せるような支援内容を設定し、声掛けを行っている	
関係機関や保護者との連携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	主治医や訪問看護師、学校、基幹相談や必要に応じて福祉サービスへの連携を意識して支援を行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	城西学園の生徒に関しては学校との連携を取っている。 出席扱いの学校には定期的連絡や情報共有を行っている	利用者が中高生なために特定の学校以外との連絡調整等は行われなことが多い。必要に応じて情報共有を行なっていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	5		利用者が中高生のため就学前の利用場所との情報共有は行っていないが、相談支援員や保護者からの申し送り等で理解を深めている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		現時点ではまだ移行された方がいないが、今後は情報提供など積極的に行っていきたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	5		現時点では外部との連携を行っていないが、今後は助言やアドバイス、研修の機会を積極的に設けていきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		昨年度は実施できていないが、中高生対象の地域イベントなどがあれば参加を検討していきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		昨年度は参加できていない。職員へのアナウンスも行ない、今後は参加を検討していきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	連絡帳や電話、SNS等を用い情報共有しやすい環境の提供を行い共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	必要に応じて個別で情報提供を行っている	個別で対応してきた内容を元に今後はペアレントトレーニングの研修など積極的に実施していきたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	個別面談を実施し、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		連絡帳や手紙での説明を行うことが多いため、今後はできるだけ対面（電話含む）で行っていきようにしていきたい
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談があった場合は迅速に対応を行い、必要に応じて関係機関への連携を行ったり情報の提供を行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	保護者会のみでなく親子レクリエーションや文化祭など、家族で参加できるイベントなどを企画し交流の機会を設けている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情等があった場合は状況の確認を迅速に行い、適切に対応を行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	ホームページやSNS、プリントなどでも情報の発信を行っている	昨年度はホームページやSNSの開設が間に合わず、あまり活用ができていなかったため、今後は積極的に活用し発信していきたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	障がいの特性に応じて意思疎通や情報伝達の方法(携帯メモ機能や筆談などを活用したり図解や文章で伝える等)を配慮し工夫を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		昨年度は地域住民への招待等ができていなかったため、今後はイベントなどの開催を行い招待を行っていくことを検討していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		ホームページへの記載は行っているが、保護者等への周知が徹底されていなかったこともあったため、今後は周知徹底を行なしていきたい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に持病や服薬、受診状況の確認を行っているが、状況の変化に伴い服薬や対応の状況確認を行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	契約時に確認を行い、職員へも情報共有の徹底を行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		昨年度はご家族への周知が一部徹底されていなかったため、本年度からは周知徹底をしていきたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		昨年度はヒヤリハット事案は起きていないが、ヒヤリハットに繋がる可能性のある事案は対策の検討と職員のヒヤリハットに繋がらない対応の意識づけを更に徹底していきたい
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		契約時には説明を行っているが、計画には記載していないため、今後は必要に応じて計画への掲載を検討していきたい